

熊本商工会議所・第28回経営動向調査

平成15年6月期結果報告書

業況DI 対前期比7.1ポイント好転しマイナス38.8

～厳しい業況の中、わずかに好転～

調査結果のポイント

全業種の業況DIは対前期比で平成15年3月期の前回調査より7.1ポイント好転し、マイナス38.8となった。なお、対前年同期比でも7.3ポイント好転しマイナス44.7。

対前期比において業況が改善した業種は4業種。製造業が前回調査(3月)から13.8ポイント改善し

▲32.1。建設業(土木)が5.6ポイント改善し▲33.3。小売業が9.6ポイント改善し▲46.9。飲食業が39.3ポイント改善し35.7。いずれも改善されたとはいえ、業況DIは低い水準。

対前期比において業況が悪化した業種は3業種。建設業(職別・設備)が前回調査(3月)から16.2ポイント悪化し▲46.2。卸売業が3.9ポイント悪化し▲44.8。サービス業は2.5ポイント悪化し▲27.5。

今回の調査では、製造業、建設業(土木)、小売業、飲食業の4業種が改善されたが業況DIは依然として低水準にあり、前回調査(3月)で著しい悪化となった飲食業は回復傾向を示したが、消費停滞、売り上げ不調を主因として、熊本市内小規模企業全体の業況DIは依然として厳しい状況が続いている中、一部の業種においてわずかに明るい兆しが見られる結果となった。

調査対象期間 平成15年4月～6月(平成15年度第1四半期)

調査期間 平成15年6月16日(月)～20日(金)

調査対象数 熊本市内小規模企業 292事業所

回答数 203事業所(回答率69.5%)

(小規模企業とは、商業・サービス業では従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業)

《業種別回答状況》

対象業種	対象数	回答数	回答率(%)
製造業	37	28	75.7
建設業(土木)	22	16	72.7
建設業(職別・設備)	34	26	76.5
卸売業	35	29	82.9
小売業	71	49	69.0
飲食業	23	14	60.9
サービス業	70	41	58.6
合計	292	203	69.5

※ DI値(業況判断指数)について

DI値は、売上高、受注・販売単価、業況などの各項目についての、判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気や弱気など「景気の実感」をそのまま表わすもの。**

DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

対前期比を主とした概況

全業種

受注・販売単価、仕入単価がほぼ横ばいの中、売上高はやや改善され、営業利益もやや改善。全体の業況は依然として厳しい状況にあるがやや改善した。

※全業種における売上高D Iの変化 15年3月期▲38.7⇒15年6月期▲33.8

製造業

仕入単価はほとんど変化がないものの、受注単価がやや改善し売上高は大きく改善。それにより営業利益も改善し、全体の業況も改善した。

※製造業における売上高D Iの変化 15年3月期▲63.0⇒15年6月期▲37.0

建設業（土木）

受注単価はやや改善したものの売上高は大幅に悪化。仕入単価は悪化し営業利益もやや悪化した。全体の業況はやや改善した。

※建設業（土木）における売上高D Iの変化 15年3月期▲5.6⇒15年6月期▲56.3

建設業（職別・設備）

受注単価がやや悪化するなかで売上高もやや悪化。仕入単価もやや悪化しそれにより営業利益も悪化。全体の業況も悪化した。

※建設業（職別・設備）における営業利益D Iの変化 15年3月期▲40.0⇒15年6月期▲57.7

卸売業

販売単価はやや悪化するなかで仕入単価は改善。売上高は改善したものの、営業利益は横ばい。全体の業況はやや悪化した。

※卸売業における売上高D Iの変化 15年3月期▲36.4⇒15年6月期▲20.7

小売業

販売単価はやや悪化し仕入単価はほぼ横ばい。売上高はやや改善するが、営業利益は横ばいとなった。全体の業況はやや改善した。

※小売業における売上高D Iの変化 15年3月期▲50.0⇒15年6月期▲45.8

飲食業

販売単価、仕入単価ともに悪化。しかし売上高は改善し営業利益は横ばい。全体の業況は大幅な改善となった。

※飲食店における売上高D Iの変化 15年3月期▲58.3⇒15年6月期▲35.7

サービス業

販売単価はやや悪化するが仕入単価はやや改善。売上高はやや改善され営業利益もやや改善。全体の業況はほぼ横ばいとなった。

※サービス業における売上高D Iの変化 15年3月期▲27.3⇒15年6月期▲22.0

業種別業況一覽

上段=対前期比 下段=対前年同期比

業 種	今 回 調 査 (平成15年6月期)	前 回 調 査 (平成15年3月期)	比較ポイント
製 造 業	▲32.1	▲45.9	+13.8
	▲39.3	▲52.0	+12.7
建 設 業 (土 木)	▲33.3	▲38.9	+ 5.6
	▲35.7	▲44.4	+ 8.7
建 設 業 (職別・設備)	▲46.2	▲30.0	▲16.2
	▲30.8	▲40.0	+ 9.2
卸 売 業	▲44.8	▲40.9	▲ 3.9
	▲48.3	▲52.4	+ 4.1
小 売 業	▲46.9	▲56.5	+ 9.6
	▲60.4	▲60.9	+ 0.5
飲 食 業	▲35.7	▲75.0	+39.3
	▲28.6	▲63.6	+35.0
サービ業	▲27.5	▲25.0	▲ 2.5
	▲45.0	▲41.7	▲ 3.3
全 業 種	▲38.8	▲45.9	+ 7.1
	▲44.7	▲52.0	+ 7.3

来期（7月～9月）の見通しD I

全業種における来期（平成15年7月～9月）の業況見通しD Iは、マイナス29.1と本年3月期の前回調査のマイナス31.7から2.6ポイント改善した。

各業種別の来期の業況見通しは、下の一覧のとおり。

業種別では、前回調査と比べ来期の見通しD Iが改善された業種は、製造業（4.6ポイント改善し▲31.8）、建設業・土木（48.2ポイント改善し▲14.3）、建設業・職別設備（8.0ポイント改善し▲8.7）、サービス業（2.5ポイント改善し▲27.8）の4業種。

前回調査と比べD I値が悪化した業種は、卸売業（10.8ポイント悪化し▲34.6）、小売業（9.0ポイント悪化し▲39.0）、飲食業（11.2ポイント悪化し▲38.5）の3業種となった。

業 種	今 回 調 査 (平成15年6月期)	前 回 調 査 (平成15年3月期)	比較ポイント
製 造 業	▲31.8	▲36.4	+ 4.6
建設業（土木）	▲14.3	▲62.5	+48.2
建設業（職別・設備）	▲ 8.7	▲16.7	+ 8.0
卸 売 業	▲34.6	▲23.8	▲10.8
小 売 業	▲39.0	▲30.0	▲ 9.0
飲 食 業	▲38.5	▲27.3	▲11.2
サービス業	▲27.8	▲30.3	+ 2.5
全 業 種	▲29.1	▲31.7	+ 2.6